

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



2015~2016年度 No.194

3月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：BF
メネット

那須ワイズメンズクラブ



2月例会(CS公開講座例会) 2月25日

2015~2016年度 主題
国際会長：(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
「信念のあるミッション」
アジア地域会長：(AP) Edward K.W. Ong(シンガポール)
「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事：(RD) 渡辺 隆 (甲府)
「原点に立って、未来へステップ」
北東部長：中川 典幸 (仙台)
「今と原点を融合して未来へ」ー楽しく改革・笑って行動ー

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
河野 順子
書記：荒井 浩元
会計：鈴木 保江
担当主事：荒井 浩元
ブリテン：田村・村田

2月例会データ(出席率：83.3%)
在籍者 6名
例会出席者 5名 メネット 3名
ゲスト：20名

今月の聖句
「論じ合おうではないか、と主は言われる。たとえ、お前たちの罪が緋のようなものでも、…羊の毛のようになることが出来る。」

イザヤ1：18

東京目黒クラブ 那須クラブ
3月 Happy Birthday
3/6 山梨順子メネット 3/13 田村修也メン

原田 時近

アメリカ大統領予備選に思う

昨今は、海外旅行をするにも殊の外現地の政情不安等に配慮せざるを得ない状況です。世界に争いのない日は一日もありません。

国家間の争い、民族間の争い、宗教に根ざす争い、政治・宗教・経済の争い…と果てを知らぬ泥沼にのみ込まれそうな思いをします。中国の軍事力、北朝鮮の独裁、中東の紛争、IS（イスラム国）に代表されるテロの台頭等限りがありません。

このような時代背景の中、アメリカ大統領予備選挙が始まりました。当然世界の動きに多大なる影響を及ぼす議論もありますが、わたしは共和党の候補者の一人の発言に注視したいと思います。彼は、「隣の国に橋をかけるより国境に塀を建てようではないか」と極論を發しました。これがアメリカの病巣といわれる格差社会への不満分子の共感を得、支持層が広がる様を見るにつけ、アメリカの建国の精神、アメリカの良心の行方を見守りたいと思うのです。これには、たまたま訪米中のローマ法王も苦言を呈しておられます。

私達がキリスト教精神に基き、この世にあって使命と責任を實踐したいと願う根源には、神様から示された隣人愛の精神があります。たとえささやかでも一人ひとりが平和の懸け橋となるべく歩ませて戴きたいと願います。勿論YMCA、ワイズメンズクラブと共に。

2月例会（地域奉仕講演会）

日時：2月26日（金）午後6時～午後8時

場所：日本基督教団西那須野教会

参加者：田村会長、村田副会長、河野副会長、原田、荒井の各メン、メネット：田村、原田、コメント：田村、ゲスト：黒磯福音教会男子3名・女子3名、西那須野教会男子4名・女子3名、他団体男子5名・女子2名、合計：28名

2月25日（金）午後6時より、美味しいカレーを頂いてから、西那須野教会において、河野順子栃木看護協会会長（那須ワイズメンバー）による「ひと事ではない認知証」と題しての講演会がパワーポイントを使って開催された。介護される側とする側の問題とその対処方法についてスライドを用いて説明をいただいた。質問もたくさんいただき時間のたつのも気が付かないほどであった。河野メンの講演趣旨は別冊「特別号」を發行いたしますのでご期待ください。

日時：2月5日（金）18：30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、田村メネット

協議事項

1. 2月例会（地域奉仕講演会）について

2月26日（金）午後6時～。西那須野教会。講師：河野順子栃木県看護協会会長（那須クラブ副会長）。演題「ひと事ではない認知症」。チラシ作成：田村。司会：村田。会費：500円。夕食準備：荒井。ユースリーダーにも呼び掛ける。

2. 3月役員会について

3月4日（金）午後6時30分～、ココス西那須野乃木店。

3. 3月例会の件

3月25日（金）に行う。

4. ブリテンの内容について

西那須野幼稚園、エルム会で掲載をする。巻頭言は、原田メン。

5. シイタケ昆布の販売 那須YMCAの活動と那須クラブの資金獲得のために販売を始めた。

6. 平成14年より始めている那須街道の赤松林の植樹について、第28回森林レクリエーション地域美化活動コンクールに塩那森林管理署より推薦をいただくことになった。との報告が田村会長よりあった。

7. その他

・後期の東日本区への会費納入期限、2月15日
・メンバーの会費の納入状況について話し合った。

旧西那須野（那須西原）の縁と水（35回）

田村修也

明治16年には、少し離れて大田原宿の東方の湯津上原あるいは片府田原と呼ばれる官有原野があり、その内239町歩を貸し下げして、品川弥二郎が開拓事業を起こしました。品川弥二郎は旧長州藩士で明治維新に大きな功績がありました。維新後は、ヨーロッパに数年滞在して、帰国後は農商務大輔（次官）、ドイツ駐在特命全権公使、宮中顧問官、内務大臣、枢密顧問官等の要職について、子爵に列せられていました。このような要職にあったので、自分の名義とすることを憚ったのでしょうか、使用人の片岡政次を名義人として事業を進めました。事務所前に傘型をした立派な松ありましたので、笠松農場とも呼ばれています。

けれども地域の人々は品川開墾と呼びました。管理者は有名な農学者（明治3老農の一人）で、群馬県人の船津伝治平の次男の船津平五郎でした。この平五郎は、後に井上と姓を改めています。農場管理にはよく力を尽くし、立派に成功させました。

品川農場は特に水田開発に努め、そのために用水の確保に力を入れました。先ず、明治20年（1887）に那須疏水第二分水を約10km延長しています。これは品川堀と呼ばれています。その後蛇尾川からの片府田用水を延長し、新たに龍尾用水を開き、地下水も利用しています。明治33年には品川弥一と平田東助名義となり、更に平田東助単独名義になって行きます。平田東助は山形県米沢出身で、明治初年ドイツに留学し、枢密顧問官、農商務大臣、内務大臣等の要職に就き、伯爵に列せられました。その妻は品川弥二郎の妻の妹で、品川弥二郎とは義兄弟になります。

※2015年11月16日に足利ワイズの諏訪治男夫人の邦子姉が召されました。諏訪さんは私が宇都宮大学学Y時代、そして日本キリスト教団栃木地区青年会時代からお世話になっている先輩です。11月19日の夜前夜式に参列致しました。その遺族挨拶の中で、宇都宮YMCA設立当時のことに触れて、私と邦子は、今日ご参列頂いている四条町教会の十河弘さん、塩谷一粒教会の原田時近さん、ICU出身の宇都宮の船津祥さん、船津さんは群馬県の有名な農学者の船津さんの家系です。西那須野教会の田村修也さんたちと共に、栃木県で初めてのYMCAを設立して、共に青少年の育成と地域奉仕に励んで参りました、とお話しになりました。

実はこのご挨拶を聞くまでは、宇都宮Y、ワイズで設立から共に活動してきた船津さんのルーツは全く知りませんでした。私は現職時代烏山林務事務所長時代には、品川開墾の真ん中を通る湯津上街道を通勤道としていましたし、ギデオンの聖書贈呈では、品川開墾の中央にある湯津上中学校に3年に1度のサイクルで訪問しています。まさか船津さんの父祖のご尽力の成果の沃野を利用し、恩恵にあずかっていたとは、思っても見ませんでした。感動を覚えます。

なお付記致しますと、品川農場は那須野ヶ原開拓農場の中では、最も多い108町歩の水田を持ち、農場内には日本では最初の品川信用組合が設立されていました。現在では那須連山から高原連山、更には表日光の男体山や女峰山まで一望でき

るところは少なくなってきましたが、品川開墾の真ん中を通っている湯津上街道は、そのうちの数少ない貴重な眺望地点を持っています。那須野ヶ原の雄大さを偲ぶことができます。以下次号へ

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長 福本光夫

「この世界を不幸にしたもの

『人よりも裕福になりたい』

『人よりも美しくありたい』

『人よりも健康になりたい』

そんな「人よりも優れたい」という心がこの世界の不幸の原因だと説く人がいます。「ホームレスを救援する100の方法（コトピア社）P127より」その人は、デイブ・デリンジャー（註1）さんです。確かに、私たち自身の生活、子育て、教育においても、自分に確固とした基準や価値観を持つのではなく、突き詰めると「人よりも優れたいという心」で、判断・行動していたということが、あるのでは無いでしょうか。良い悪いは別として。「人よりも…」というのには、際限が無く、決して心が満たされることはありません。

この「人よりも…」という気持ちや人の持つ「コンプレックス」に着目した関係の商品や美容整形が繁盛していることは、日常会話、CM、高額納税者番付に、ダイエット商品の社長や美容整形医がランキングされていることからわかります。

いま、幼稚園のこどもたちは、発表会の準備をしています。楽しそうに見えますが、決して楽しい体験ばかりでは無い時もあるでしょう。うまくいかなかったり、表面上は停滞してるように見えることもあると思います。しかし、こどもたちは、「人よりも…」ということでは無く、自分と向かい合って取り組んでいます。それだけに、達成した時の喜びには素晴らしいものがあります。それが、自信であり、成長へのエネルギーへとなるのです。

イエール大学、オックスフォード大学、キリスト教の神学校、牢獄で学んだデイブ・デリンジャーさんが言ったことを、こどもたちは既に実践しています。私たちの生き方の基本は、神様が与えて下さった最も身近な子どもにあったのです。

発表会では、その子その子が経験したその子なりの演技を楽しみにしています。しかし、当日、発表会の準備で培ったものを十分に発揮出来ない

子どももいます。それは、本番は1回しか経験出来ないからです。出来た出来ないにかかわらず、たくさん褒めてあげてください。私事を披露するようですが、実は私も発揮できなかつた1人でした。小学1年生の時、選ばれて次の1年生を招いての一日入学で合唱と合奏を披露することになりました。私の合奏でのパートはタンバリンでした。簡単な内容なので練習ではきちんと出来ていたと思います。しかし、ステージの縁台に上がると、たくさんの子どもたちの真剣な眼差しが見えました。ここで叩かなければと頭ではわかるのですが、緊張のあまり手が動きませんでした。そして、タンバリンをいちども叩くこともなく終わりました。私は担任の熊田先生に、大変叱られる事を覚悟しておりましたが、先生は、叱るどころか、みんなを褒めてくれました。たとえとしてはうまく表現できませんが、幼な心にも、許し難い大罪が許された。というような気持ちになったことを40年経った今も覚えています。私が出来なかつた事で、その先生の素晴らしさに気づかされ、生涯に渡ってその先生との出会いに喜び、加えて幼稚園の発表会で本番がうまくいかなかったこどもの気持ちが理解できます。保護者の皆様も熊田先生のように褒めて下さい。「素晴らしい親で本当に良かった」とこどもは思います。

註1 David T. Dellinger (1915.8~2004.5)
アメリカ人の彼は、名門のイエール大学、オックスフォード大学で学びました。第二次世界大戦に自国の参戦に反対し、服役した。その後キリスト教の神学校でも神学を学びました。何度か来日されています。自叙伝『アメリカ』の知らないアメリカ(藤原書店)の原題からの直訳は、「イエールからジェイル(監獄)です。

(しらゆり 2016年2月12日加筆修正)

社会福祉法人 エルム福祉会

エルム福祉会「たじまの杜」での神様の導き

エルム福祉会「たじまの杜」施設長 川上 聖子
西那須野教会の皆様の祈りにより開所した介護事業所「たじまの杜」での神様の導きをお伝えしたいと思います。現在、グループホーム利用者9名、小規模多機能型居宅介護(デイ・訪問・ショートステイ)の登録者22名、職員はパート職員も含め25名おります。

2015年7月29日(水)から、潘牧師、大下牧師により「たじまの杜」での礼拝がスタート

いたしました。牧師先生方が毎週来てくださり、賛美を中心に、御言葉はみんなで読める程度(一節のみ)で、メッセージもわかりやすく話して下さっています。今では、その時間を利用者様は楽しみに待つようになりました。そして、今年度2名の利用者様が洗礼を受けることができました。その方々のことを書かせていただきます。

「たじまの杜」として看取りをするかしないか職員間で随分話し合いました。そのきっかけとなったのは、Hさんのご家族からのご要望でした。Hさんの娘様の義祖母が、あるグループホームでスタッフや利用者様たちにあたたく看取られて亡くなられた経験があり、Hさんも同様に、延命処置をできるだけせず、「たじまの杜」で看取りをしてほしいとのことでした。そして、Hさんは昨年8月ごろから、嚔下障害が起き始め、状態が悪化してきました。そのため私たちは、看取りをやろうと決断し、いつも往診に来て下さる先生に相談して準備を進めることになりました。その中で、葬儀の話が出ました。ご家族には、ここで毎週水曜日に牧師先生が礼拝に来てくれていること、西那須野教会では、葬儀もお願いすればしてくれること、などを話したところ、「特定のお寺の檀家になっているわけでもないし、「たじまの杜」にお世話になったことにも、縁を感じるのでもし教会式で葬儀をして頂けるのならお願いしたい」とのことでした。また、私自身としても、神様を信じて、ぜひHさんに洗礼を受けてもらいたいという気持ちがあると伝えました。すると、娘様から「実は、母が私達娘をミッション系の幼稚園に入れてくれたので、幼いころはお祈りをしていました。きっと、母なりの思いがあったと思うので、洗礼を受けることは家族として良いと思います」と言ってくださいました。10月17日(土)の夜、娘様ご夫妻とご主人様を西那須野教会に案内し、潘・大下両牧師に会っていただきました。Hさん自身の洗礼についても、家族全員が納得しているとはっきりおっしゃっていただきました。11月に入り、Hさんの調子の良い時に、私はHさんに聞きました。「神様はいますかねえー」とすると「うん、いる」と答えました。「Hさんは神様が見えますか?」と聞くと、「見える」とおっしゃって、天を仰ぐように顔をあげました。この出来事が、確かに神様の導きであると信じ、牧師先生方にお伝えしました。そして、11月12日(木)「たじまの杜」での礼拝後、Hさんの居室で、病床洗礼を受けました。そこには潘・大

下牧師の他、私・阿部牧師夫妻・入居者A様とB様ご夫妻が立ち合いました。皆で「いつくしみ深き」を讃美しているうち、涙がこみ上げて止まりませんでした。今は、神様の許す限り、「たじまの杜」で穏やかに過ごして頂きたいと思っています。そして、神様の時に、みんなで御国へ見送ることへの希望をもっています。それがご家族に対しての神様の導きとなり、ご主人や娘様たちの救いへとつながってほしいと祈っています。ぜひお祈りください。

次に、Aさんについて書きたいと思います。Aさんのご両親、奥様家族は皆クリスチャンです。Aさんだけが仕事が忙しく、教会に行くことができず、洗礼されていませんでした。「たじまの杜」に入居することになったきっかけは、Aさんの義姉が、「たじまの杜」ができることを回覧版で知り、また、理念にキリスト教精神を掲げているということで、見学に来て、入居することになりました。Aさんは、讃美歌を知っていて、歌うことは好きでしたが、教会に誘っても行こうとはしませんでした。しかし、「たじまの杜」での礼拝が始まり、奥様が毎週来て一緒に参加し、さらに「Bさんが毎週教会に行くので、いっしょにどうですか」とお誘いすると、「行ってみっか！」と言って通うようになりました。教会には「懐かしい歌を歌う会」のボランティアの田村修也さんがいて、ウクレレやフラダンスのボランティアの小柳芳夫さんがいて、アジア学院の方を連れてきてくれる菊地 創さんがいて、知り合いがたくさんいたことはとてもうれしかったのではないかと思います。私は、御心なら、クリスマスに受洗できますようにと祈っていました。「洗礼を受けてはどうですか」となにか聞いてみましたが、「そのうちにね」とだけ答えが返ってきました。牧師先生方とは「Aさんが洗礼を受けるなら、「たじまの杜」の礼拝の時がいいかもしれないのでは」などと話していました。牧師先生方からも受洗のお話をしていただきましたが、まだ踏み切れなかった様子で、クリスマスには無理かもしれないと思っていた矢先、奥様が面会に来て、「20日のクリスマス礼拝時に教会で洗礼を受けるそうなのでよろしく願います」と言われ、目を丸くしました。Aさんの中で決心ができたんだと思います。12月2日の「たじまの杜」での礼拝後、もう一度確認のため、潘・大下両牧師・鎮海さん・奥様と私が立ち合い、潘牧師が聞きました。「神様を信じますか？」すると「信じるよ！」と。ま

た、「洗礼を『たじまの杜』で受けますか？教会で受けますか？どちらでもいいですよ。」と聞くと、教会で受けたいとしっかりと答えました。そして、12月20日のクリスマス礼拝で大きな声で「約束します」と誓約しました。ご家族も本当に喜んでいました。神様の導きに感謝でいっぱいです。障がいがあろうとも、老いて認知症になろうとも、ただ、神様の救いにあずかる恵みを多くの人に伝えていく事が、神様と先に出会った私たちの務めだと思っています。

「神様は、小さく弱い者を尊んでくださる」ということが、私たちの希望です。

今後の予定

・ 3月役員会

日時：3月4日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：3月例会、4月例会、3月予定の確認、ブリテンの発行等。

・ 那須YMCAリーダー卒業を祝う会

日時：3月5日（土）午後6時30分～

場所：那須YMCA

・ 「揚がれ！希望の凧2016 那須会場」

日時：3月6日（日）午後2時～

場所：大田原市ふれあいの丘芝生公園

・ 3月例会

日時：3月25日（金）午後6時～

場所：西那須野教会

内容：ユースリーダーの報告会

ワイズやYMCAの様々の全国的なプログラムが開催されました。そこに参加した那須YMCAで活躍しているリーダーたちが報告をします。今回報告を行うリーダーの紹介をいたします。

・ 第28回ユースボランティア・リーダーズフォーラム（2015年9月11日～13日）・須江卓矢（すっちー/国際医療福祉大学2年生・薬学）
・ 笠間 脩平（しゅうまい/国際医療福祉大学3年生・医療福祉マネジメント学）

・ 第43回全国学生YMCA夏期ゼミナール（2015年9月11日～14日）・阿久津 知志（つくつく/国際医療福祉大学4年生・医療福祉マネジメント学）

・第3回北東部ユースリーダーズアクト（2015年11月21日～22日）・フィリピン台風被災地支援ワークキャンプ（2016年2月24日～3月1日）・吉田 朱里（じゅりあん/国際医療福祉大学2年生・作業療法学）
会費：500円

・4月役員会

日時：4月6日（水）正午12時30分～
場所：ココス西那須野乃木店
内容：会計決算報告、4月例会、5月予定の確認、ブリテンの発行等。

・4月例会（植樹例会）

日時：4月29日（金）午前10時～
場所：那須街道赤松林駐車場

・東京目黒クラブの予定

4月例会：4月13日（水）午後1時30分～
5月例会：5月11日（水）午後1時30分～

東京目黒クラブ2月例会訪問報告

村田 榮

2月10日（水）午後1時30分からの東京目黒クラブの例会にメネットとともに出席してきました。メンバー、ビジター、ゲストを含めて16名の参加がありました。今月は、東京北クラブの村杉克己ワイズの「私にとっての72年」と題してお話があった。氏との出会いは、姫路クラブにいた時にワイズ物品の件で何回か電話連絡をしたり、大会でお目にかかっていた。お話の内容は、ワイズに入ってから40数年になるが例会欠席がないこと、YMCA会員証が40枚以上集まっていること。子供のころより通った浅草教会での出会いでは、西那須野教会の天下牧師との出会いもあるとお話にびっくりしました。一栄メンとの結婚を機にシャープをやめて現在の斎藤工芸に入社。YMCA・ワイズとの出会いは、伯父の抱井五郎さんから「友達が大勢できるぞ・社会勉強ができるぞ・人のために働けるぞ・ちょっと金がかかるが」と勧められて入会等々のお話を聞きました。昨年の夏に東京目黒と那須クラブの合同例会の時に参加していました根本メンの孫、本間匠君（博士）にも会い、この4月より日立重工に入職とのことでした。2月例会後は、部長の公式訪問が第2例会にあるために多くの役員の方々が例会

より出席をされていた。又、今月も那須クラブより「シイタケ昆布」を持って行き販売・資金作りに協力いただきました。

YMCA報告

【フィリピン台風被災地支援ワークキャンプにリーダーが参加しました！】

2月24日（水）～3月1日（火）にフィリピン台風被災地支援ワークキャンプ（主管：YMCAせとうち）に那須YMCAで活躍しているユースボランティアリーダーのじゅりあんリーダー（吉田朱里さん）が参加しました。

2013年11月8日にフィリピンに上陸した台風は、歴史の中でも最も勢力が強く、学校、教会、生活の基盤となるライフライン、そして多くの尊い命を奪いました。フィリピン中部にあるパナイ島イロイロ市も壊滅的な被害を受けた地域の一つです。2014年春に実施されたワークキャンプでは、イロイロ州のタンバリザ地域において、地域住民と結束を図りながら、被害を受けた地域の包括的な復興を進めていきました。被災地の方々は、継続した支援を必要とされており、今回のワークキャンプ期間中は、小中学校で利用する施設修復作業や、被害を受けた子ども達を対象にした補習授業・遊びなどのプログラムを行いました。今回参加したメンバーは、全国のYMCAユースボランティアリーダーやユーススタッフの計11名が参加しました。じゅりあんリーダーがどんな体験をしてきたかを、3月例会にて報告をさせていただきますので、是非例会にお越しください。今回参加したリーダーが、今回の経験が糧となり、YMCAでのボランティア活動が実り多きものとなりますように願っております。この度は貴重な機会を頂きどうもありがとうございます。



【とちぎYMCA・那須YMCAの3月の予定】

- ・ 3/2 (水) 北関東YMCAスキースタッフトレーニング@スノーパーク尾瀬戸倉
- ・ 3/5 (土) サタデークラブ@宇都宮動物園
- ・ 3/5 (土) 那須YMCA卒業リーダーを祝う会@那須YMCA
- ・ 3/6 (日) 揚がれ!希望の凧2016 那須会場@大田原市ふれあいの丘 (宇都宮会場・足利会場と同時開催です)
- ・ 3/12 (土) サタデークラブ@宇都宮動物園 (今年度最終回)
- ・ 3/13 (日) Yキッズ@国立科学博物館 (今年度最終回)
- ・ 3/14 (月) ~ 16 (水) 北関東YMCAスキースタートレーニング@スノーパーク尾瀬戸倉
- ・ 3/17 (木) 西那須野幼稚園卒園式出席
- ・ 3/20 (日) ~ 21 (祝・月) オールとちぎYMCAリーダーズキャンプ@宇都宮YMCA
- ・ 3/27 (日) ~ 4/3 (日) スプリングプログラム計3本実施予定